

## おじいちゃんの左手

松倉 昊生まつくら こうせい

ぼくのいえはおてらです。ぼくのおじいちゃんとおとうさんはおぼろさんです。

おじいちゃんは、ぼくが大きくなったときのために、いつしよにおきょうをあげたり、ぎせんをおしえてくれました。ふでの字もじょうずだし、そうじもとくいで、何でもできるおじいちゃんです。

きよねんのなつ、おじいちゃんがびょうきになりました。「のうこうそく」というびょうきで、はんとしにゆういんしました。おじいちゃんがゆういんしたとき、おかあさんは「だいじよおぶだよ」と言っていたけど、おじいちゃんにすぐに会わせてもらえなくて、ぼくはとても心ばいでした。

何日かたつて、おじいちゃんに会ったとき、おじいちゃんベッドによこになっていて、てんてきをされていました。そして、左手がうごかなくなっていました。

いつも元気で、なんでもできるおじいちゃんがうごけなくなったのを見て、ぼくはなきました。おじいちゃんがかいそうで、かなしくて、しばらくなみだがとまりませんでした。

でも、おじいちゃんはとでもつよくて、びょうきにまけないで、まい日リハビリをがんばりました。ぼくがびょういんへ行くと、いつも「ありがとう」と言つて、えがおであく手をしてくれました。ぼくはなにもしていいのに、ありがとうと言わ

れるのがふしぎだったけど、おじいちゃんがえがおで言つてくれるので、うれしかったです。

おじいちゃんは、つえをつかつて歩けるようになって、たいいんしました。左手はうごかないけど、うごく右手をつかつて、じぶんのことはだいたいじぶんでできます。ふでの字もかけるし、おきょうもよめます。

右手だけだとむずかしいことは、たのまれることもあるので、おてつだいします。おてつだいをすると、おじいちゃんはいつも「ありがとう」と言つてくれます。

「ありがとう」ということは、おしやかさまのおはなしからうまれたんだよ、とおとうさんがおしえてくれました。じぶんのしあわせはたにんのしあわせ、たにんのしあわせはじぶんのしあわせ、という考えだそうです。

おじいちゃんはびょうきになって、左手がうごかなくなったのに、かぞくやまわりの人に、いつも「ありがとう」とえがおで言えて、すこいなと思います。

ぼくも、おじいちゃんみたいに、どんなときも「ありがとう」が言える人になりたいです。

そして、おじいちゃんの左手がうごくようになるように、すすんでおてつだいをしようと思います。